



# 支えるつながり

## 令和3年・4年度大分県PTA連合会 指定研究発表会

令和3年・4年度大分県PTA連合会

大分県PTA連合会指定研究は、1949年(昭和24)に始まった県教委指定の事業を1956年(昭和31)に引き継いだ他県にはない県P連の特色ある事業である。  
現在は大分県内より2単位のPTAが研究指定を受け、2年間の研究成果を公開発表し、PTAの振興を図っている。

11月27日(日)、令和3・4年度の2年間、県PTA連合会指定研究に取り組んできた2校の研究発表が行われた。今年度は感染拡大防止のため各学校ではなく県教育会館で開催された。  
家庭・学校・地域が連携することを重視し、子どもを中心として地域の特色を生かした活動の発表となった。2年間の継続的研究の成果が披露され、PTA会員約300名が参加した。

### 開会行事

佐伯市立鶴谷中学校教育友会川口副会長の開会宣言に続き、山田弘樹県P連会長が、指定研究発表会を3年ぶりに開催できたことに感謝を述べ、「子どもたちを取り巻く社会環境のめまぐるしい変化のなか多様な課題の解決のため、保護者どうしがつながり、活動を通して明るい未来を示し続けていくことが大切である。PTAを時代の変化に対応するための、学びの場としてほしい。子どもたちが新しい時代の創り手となるために必要な「生きる力」を育んでい



挨拶する山田県P連会長

くために何ができるのかを考へ行動することが、いま求められている。研究発表を通して今後のPTA活動の充実につなげてもらいたい」とあいさつした。続いて森山貴仁県教育庁社会教育課長は「大分県の子どもたちが学力・体力ともに高い水準を維持していることは、授業改善や一校一実践等の取組による学習・運動の意欲向上の成果が表れた結果と考えられる。社会の変化の中、今後とも細やかな児童生徒への対応をしていく。本日の発表を通して、子どもたちの自己実現を支えるため、家庭・学校・地域の役割の再認識と連携のあり方を学ぶ機会としていただきたい」と祝辞を述べた。その後、2校の公開発表が行われた。



2年間の成果を発表

豊後高田市立高田小学校PTA(児童数358名、会員数284名)は、「コロナ禍の中における安心・安全なPTA活動のあり方をもとめて『地域の宝を育てる』学校・家庭・地域の連携を通して」を研修主題に公開発表。

### 学校紹介

高田小学校は大分県の北東部の西側に位置する豊後高田市の中核部にあり、令和5年に開校150周年を迎える。町並み遺産「昭和の町」が校区のなかにある。近年、子育て世代に手厚い市の施策により児童は増加している。平成26年からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に取り組み、「総合的学力を身につけたたくましい高田っ子の育成」を目標に地域の声を活かし一体となって学校づくりを進めている。



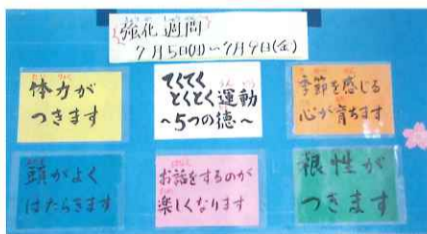
発表する高田小PTA

### 見守り活動の輪ひろがる

全体発表では、研究主題に基づく発表が行われた。「新型コロナウイルス感染症が確認されて数年が経過した。本校PTAは、主題とした『コロナ禍の中における安心・安

## 高田っ子の心豊かな成長を願って 豊後高田市立高田小学校PTA

全なPTA活動のありかたを念頭におきながら役員会や評議委員会でPTA行事の見直しを行っている。家庭・学校・地域が連携し、地域の宝を育てる活動を研究の柱に進めることにした。不要不急の外出を避けるなどの行動制限のため児童の体力は低下傾向にある。そこで地域の方々と連携し、PTAと学校が10年以上行っている『てくてくとく運動』の啓発活動の推進を始めた。



活動のようす

者、自動車事故等の要因で低下していた達成率は現在回復傾向である。令和4年度からは自治会と連携した取組もスタート。毎月1日と20日に自治委員の方に『てくてくとく手旗』とともに通学中の児童を見守って頂いている。今後も工夫や啓発を続けたい。コロナ禍でも会員の知恵を絞ること子どもたちや保護者にとって有意義な活動ができた」と発表した。



活発に意見交換する参加者

子どもの基礎体力向上を目指す行われている。みんなてくてくとく運動は、片道1km以上の徒歩通学を奨励し、5つの得(徳)①体力向上②学力向上③豊かな感性④強い心⑤コミュニケーション力を得るという取組。保健体育部、地区委員会、学校運営協議会の活動のほか、研修部が年2回取り組む『子どもと関わろう週間』のアンケート内でも保護者項目で取り上げ、さらにてくてくとく達成率を記載することで保護者への啓発を行っている。コロナ禍や熱中症、不審

質疑・意見の時間には、PTA会長の代替わりの際の地域との関わり方について、てくてくとく運動の子どもの具体的な体力向上の状況・始まりのきっかけ・徒歩通学の距離の違いによる対応について等活発な意見が交わされた。

長野雄一郎県教育庁社会教育課指導主事は『てくてくとく運動は、コロナ禍で低下傾向の体力を向上させるという課題に基づいた活動である。また学校を中心とした同心円の地図で距離を示したチラシを作成し子どもたちだけでなく保護者へ取組を見える化している。加えてPTAと学校と地域が目標を共有しているところも良い点である』と指導講評した。

本校は、二〇〇一年四月より宇佐市小規模特認校の指定を受け、今年度で二十二年目を迎えます。小規模特認校とは、豊かな自然に恵まれた教育環境のもとで、明るく、たくましく、のびのびとした教育を希望する保護者・児童の願いに添い、市内全ての校区から西馬城小学校へ児童が転入できる制度です。現在、全校数は十一名。うち、制度を利用しての児童は三名です。十一月十二日(土)、子どもたちの学びの発表の場でもあり、地域の皆様のすばらしい作品を展示する、特認校公開発表会が行われました。運動会・稲刈り・登山と二期期は多くの行事が続く中、地域の方々に日頃の感謝を伝えられる特別な一日でもあります。



育児は育自と、日々自問自答しながらも、子育てを楽しむ余裕はなく、ついつい叱ってばかりになる日もあります。時として、孤立しがちになる子育てにおいて、私を支えて下さったのは、地域の方々からの言葉や、PTA活動を通して出会ってきた皆さんの対話でした。何気ない話や一言に、これまでどれほど救われてきたことでしょうか。決して一人ではないことを、これまでたくさんの方に教えていただき感謝しています。少人数で、大きな学校に比べると出来ることは限られていますが、この西馬城でしか学べないことが、地域の方々のつながりを大切に、子どもたちにも決して一人ではないことを伝えていきたいです。  
会長 坂本 景

宇佐市立西馬城小学校PTA

# 豊かな成長

## 原点にかえり 柔軟な発想から

### 佐伯市立鶴谷中学校育友会

佐伯市立鶴谷中学校育友会（生徒数481名、会員数479名）は「改革」・「持続可能な育友会に向けて」を研究主題に公開発表。

#### 学校紹介

鶴谷中学校は九州の市町村のなかで最大の面積を持つ佐伯市の中心部に位置している。「ふるさと佐伯の未来をリードする人間力を身につけた生徒の育成」を教育目標とする。



発表する鶴谷中育友会

学校像に、保護者も楽しい活動を目指し、友を育む会の意味を持つ育友会で活動している。県南佐伯地区の中心校の役割を担い、7年目になるユニティ・スクールの取組を通し家庭・学校・地域が一体となって活動を進めている。

#### 柔軟に変化に対応

全体発表では、研究主題に基づく発表が行われた。「この数年のコロナ禍で育友会活動も変化せざるを得ない状況になっている。『できる時にできる人が、できる事を』をモットーに、会員にやりがいを感じてもらい、やらされ感・負担を軽減することが、持続可能な育友会につながる」と考え、以下の活動方針に基づいた2年間の研究に取り組むことにした。

#### 〈令和3・4年度 活動方針〉

1. 専門委員会の種類と活動内容・方法の見直しに取り組む。
2. 各種大会および活動への参加強要（動員）見直しに取り組む。
3. 組織の見直し、学級役員の役割と活動内容の見直しに取り組む。
4. コロナ禍における活動のあり方を工夫する。

令和3年度から研修委員会と保健給食委員会を新たに保健委員会としてまとめ、学級委員長が体育委員を兼任することにし、学級の委員選出人数を6人から3人にした。また地区により生徒数の差があり地区委員長・副委員長の選出が困難になっていた地区や実質的に活動が無くなった地区育友会を廃止。令和4年度から常任委員会の規定を

改定し会議の回数を最小限にする事で委員の負担軽減を図った。

感染状況を鑑み、総務・常任委員会をリモートで実施。広報紙の編集会議にSNSを活用しコロナ禍での活動のあり方を工夫した。

また、保護者アンケートのなかで参加してみたい活動として関心の高かった授業参観・学級懇談や高校訪問に関する活動のために改革を進めていきたい」と発表した。

質疑・意見の時間には、リモート会議に使用するアプリの活用方法、広報紙の写真や高校訪問の内容など多くの質問に意見交換がなされた。

長野雄一郎県教育庁社会教育課指導主事は「研究主題にある持続可能という点において、会議の負担が大きいことを止めるではなく減らすことにしたのは、つながりを活かすため懸命に模索した結果であると考えられる。公開発表の場でリモートやSNSの活用、長く続けている活動を取り上げることで他の多くの学校にとっても大切さを再認識できる」と指導講評した。



会議を減らし SNSを活用



発表を聞く参加者

#### 第70回日本PTA全国研究大会

### 山形大会に参加して

第70回日本PTA全国研究大会山形大会が8月26日、27日に開催され、大分県PTA連合会より6名で参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった一昨年の富山大会、完全オンラインでの1日開催を余儀なくされた昨年の北九州大会に続く山形大会は、3年ぶりのリアル開催となり、「人とひとのつながりを体感しよう！」とあがりしやい精神の山形から「のろろ」のイメージのもと、全国各地から約6000人のPTA会員や教育関係者が集いました。「あがりしやい」とは、山形の方言でもおなじみの言葉です。

私が参加した特別第1分科会では、「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動「持続可能な社会の担い手の育成を目指して」を研究課題として、木村貴志氏の基調講演と、岩手県滝沢市立滝沢第二中学校PTAの白沢仁会長の実践発表

を受け、パネル討議では「学校教育、家庭教育、社会教育がそれぞれの役割を果たし連携しながら進めていくことが大切であり、そのひとつの仕組みがユニティスクールや地域学校協働活動である」という意見がありました。3つの教育のバランスを整っていくよう、私たちPTA会員には、家

のあと、両氏を含むパネリストにより「地域との連携・協働による多様化する子どもたちとの関わり方について」を視座に討議が行われました。基調講演の「子どもの情緒が安定する家庭を築くことが最大の学校教育支援」「学校教育支援としての地域の学び、遊びなどが大切」という話を



参加した大分県P連理事



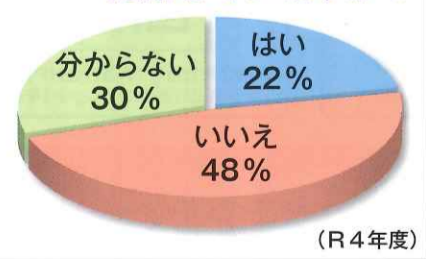
庭教育の充実とともに、学校教育で提供し難い学びを地域の中で提供できるよう、PTA活動を工夫しながら、周囲の保護者や地域と連携した取り組みが求められていることを学びました。大会に参加し、全国各地のPTA関係者が熱い思いで様々な実践に取り組んでいることを知り、多くの仲間がつながり、学び合うことの意義を強く感じた2日間でした。

大分県PTA連合会 副会長 芝尾 文徳 (番外編)

一緒に参加した豊後高田市P連の方からお聞きしたのですが、市町村名に「高田」がついている市町村P連が、この全国大会に合わせて集まり交流を深めているそうです。来年の広島大会の実行委員長は安芸高田市P連の方なので、この高田っ子クラブさながら、広島大会も大いに盛り上げてくれることでしょう。

## 令和4年度 第15回 全単位PTA会長研修会 アンケート結果報告

### 「PTAのすゝめ」を活用していますか？



#### ① どんな活用をしていますか（複数回答）

- \* PTAの会議資料表紙に印刷した
- \* 総会の会長挨拶の中で呼びかけた
- \* PTAの時の議題に取り上げた
- \* 学校内に掲示している

#### ② 今後どのように活用するとよいと思いますか

- \* 総会や学期末PTA等の機会を利用して伝える
- \* 会議資料等に掲載・会議資料などに積極的に載せていく
- \* 事例紹介等広報紙で取り扱ったらどうか
- \* 活用事例も一緒に配付して、活用の機会を促す
- \* 一般会員に、より伝わるように広報活動をしていく
- \* 「PTAのすゝめ」についての紹介を研修会などで行う

#### ③ 「PTAのすゝめ」についてご意見・ご要望をお書きください

- \* 具体的にどのように活用しているのか、情報があれば提供してほしい
- \* 大人目線なので使いづらい。読みやすいイラスト入りで作成してほしい
- \* 「PTAのすゝめ」をもとにした、マンガ冊子などを作ったらよいのでは
- \* 今回の研修会で初めて知った。このような理念を周知する仕組みづくりが必要なのは
- \* 少し言葉が古い印象がある。もっと親しみやすい表現にしてみたらどうか
- \* 良いことを書いていると思うが、よりシンプルに3つぐらいに見直しては

### PTAのすゝめ

- 一、大人が示そう あいさつの手本
- 二、子どもと遊び ふれあい 伝える愛情
- 三、学校とともに深める 信頼の絆
- 四、地域と見守り はぐくむ郷土
- 五、みんなでついでできる事を、できる時に
- 六、PTA活動を通して 楽しもう 子育て

#### 大分県PTA連合会では、

「大人が・子どもと・学校と・地域と・みんなで・楽しもう子育て」の6つのキーワードに思いを込めて、「PTAのすゝめ」(令和3年度改め)を推進しています。

# 第31回 大分県PTA研究大会 杵築市大会

大会スローガン

『ただいま・おかえり・いってらっしゃい  
～ここをこめて協育を』

研究主題を「家庭・学校・地域が一体となつてつながりあうPTA活動」とし、令和5年2月5日(日)に開催します。杵築・山香中学校体育館、山香中央公民館等において分科会の発表を行います。

分科会・テーマ	提言 題	提言 者
第1分科会 家庭教育 こころをこめて育てる家庭教育	こころをこめて育てる家庭教育	白杵市立 白杵小学校PTA会長 伊東 太一郎
	『親と子で感じあおう、お互いの気持ち』 PTAで始める家庭教育ノススメ	中津市立 豊陽中学校PTA会長 御幡 雅章
第2分科会 広報・地域連携 子どもたちの育ちは地域と共に	豊洋の担い手育て ～ふるさとを思い、地域に貢献できる豊洋っ子～	杵築市立 豊洋小学校奨学会会長 小澤 希美
	子どもたちの育ちは地域と共に ～「顔の見える関係づくり」の取組を通して～	佐伯市立 米津中学校PTA会長 丸山 祥永
第3分科会 人権教育 ともに考え学びあう人権教育	会員すべての人権を尊重する PTA活動を目指して	大分市立 戸次小学校PTA会長 那賀 照晶
	「学び・響き・輝く」山香中PTA活動 ～家庭と学校の連携・協力を通して～	杵築市立 山香中学校PTA会長 岩尾 雅弘
第4分科会 組織・運営 楽しくつながるPTA活動	〈学校、家庭、そして地域の支えの中で〉 ～つながりを感じ、気持ちよくアクションを楽しもう～	竹田市立 祖峰小学校PTA会長 佐藤 義治
	〈子どもの夢を育むPTA活動〉 ～学校・地域・家庭の連携した実践を通して～	別府市立 中部中学校PTA会長 恒松 宗典

おめでとうございます

令和4年度

## 優良PTA 功労者表彰

日本PTA会長表彰

〈団体〉  
玖珠郡PTA連合会

〈個人〉  
仁田野繁昌(日田市)  
濱地 京子(大分市)

第44回全国小・中学校PTA  
広報紙コンクール表彰

〈佳作〉  
国東市立安岐中学校PTA  
「かわら版」



大団円

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。社会の動きは、その質と量において、極論だが、目まぐるしい変化状況を示している。ぼんやり出来ない事態だと、見た方が良いのだろうか。素直に、この時勢に身を置

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。社会の動きは、その質と量において、極論だが、目まぐるしい変化状況を示している。ぼんやり出来ない事態だと、見た方が良いのだろうか。素直に、この時勢に身を置

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。社会の動きは、その質と量において、極論だが、目まぐるしい変化状況を示している。ぼんやり出来ない事態だと、見た方が良いのだろうか。素直に、この時勢に身を置

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。社会の動きは、その質と量において、極論だが、目まぐるしい変化状況を示している。ぼんやり出来ない事態だと、見た方が良いのだろうか。素直に、この時勢に身を置

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。社会の動きは、その質と量において、極論だが、目まぐるしい変化状況を示している。ぼんやり出来ない事態だと、見た方が良いのだろうか。素直に、この時勢に身を置

「大団円」は、大きく、まあるい、つまり四方八方まわく収まること。社会の動きは、その質と量において、極論だが、目まぐるしい変化状況を示している。ぼんやり出来ない事態だと、見た方が良いのだろうか。素直に、この時勢に身を置

## 三井住友海上火災保険株式会社



### 大分県PTA連合会補償制度

令和4年度の学生・子ども総合保険は、自転車条例に対応する賠償責任の補償に加え、新型コロナウイルスの感染リスクに備えるプランや、支給されたタブレットの損壊リスクにも対応するプランをご用意しています。

補償期間：令和4年4月1日～令和5年4月1日

中途の加入も随時受け付けています。詳しくは取扱代理店までお問い合わせください。

事故にあわれた時のご連絡先

24時間365日事故受付サービス  
「三井住友海上事故受付センター」

☎ 0120-258-189

保険にかかるお問い合わせ

(取扱代理店)  
MS九州株式会社 大分支店

☎ 097-537-3700

受付時間：平日9:00～17:00

## 東京海上日動火災保険株式会社

ケガ 自転車条例への対応 熱中症

ご心配な方へ!  
2023年1月から募集開始!  
スマホでかんたん 保険申し込み～口座の登録まで手続き!



詳細は大分県PTA連合会HP掲載の「東京海上日動パンフレット」をご覧ください。

保険にかかるお問合せ  
(事故に遭われた時のご連絡先)

〈取扱代理店〉

東京海上日動パートナーズ九州  
大分支店大分支社

☎ 097-547-9480

受付時間平日9:00～17:00

## 第46回 大分県PTA 広報紙コンクール

◆応募対象◆  
県下の小・中・特別支援学校PTAで年1回以上定期発行した広報紙(号外を除く)(令和4年2月～令和5年2月までに発行したすべての号を提出)

締切日 令和5年2月17日(金)  
審査日 令和5年2月21日(火)  
表彰式 令和5年3月14日(火)

※単位PTAに送付した実施要項と上記の下線部分を変更しています。ご確認ください。

1年間の成果を  
お待ちしております

「はぐく美」編集委員を募集  
しています。  
詳細については左記事務局  
までお問い合わせください。  
大分県PTA連合会事務局  
☎(097)556-9055



▼気持ち言葉にして伝える。幼少期から口を酸っぱくして息子に言う。十数年後の時を経て「僕たちを産んでくれてありがとう」のメッセージに心が弾む。私も慌てて、母へ感謝の気持ちを伝えた。(K)  
▼サッカーW杯。家族で夜更かししたり、早起きしたり。ハラハラドキドキするイベントを家族で味わえる喜び。息子よ、大人になっても今年のこと、学校のこと、色々なことと一緒に思い出してね。(I)